

## 消火器の破裂事故にご注意！

腐食して老朽化した消火器の使用により、思わぬ破裂事故を招いてしまった事例を最近よくニュースで耳にします。せっかく万が一に備えて置いてある消火器が凶器になってしまっは大変です。

そこで今回は、この消火器の管理についての正しい知識をご紹介します。

### ●なぜ破裂するのか？

消火器内部には圧縮された二酸化炭素ボンベが内蔵されています。消火器のレバーを握ると、ボンベが破られ、本体容器の内部に二酸化炭素が充満し、その圧力で薬剤が放出されます。その時、消火器本体に腐食や変形があると、その部分が圧力に耐えられなくなり、破裂が起こるのです。また、消火器本体に圧力をかけている消火器もあります。このタイプはレバーの根元に圧力計がついています。

### ●破裂の恐れのある消火器はこのようなもの！

…該当するような消火器は至急点検、廃棄を…

- ①製造後8年以上経過している。(消火器の交換の目安は約8年です)
- ②本体のキャップ(首の部分)や底部が錆びついている。  
(事故の多くは錆による腐食が原因です)
- ③本体にへこみや変形、大きな傷がある。



### 《消火器の適正な管理方法》

× 設置してはならない場所

- ・台所や湯沸室など湿気の多い場所(錆が発生しやすくなります)
- ・直射日光のあたる場所(容器の酸化を進めます)
- ・温度変化の大きい場所(腐食を早める場合があります)
- ・建物の外部(外に設置する場合は専用ボックスに収納しましょう)

### ●不要になった消火器を廃棄するときには…

不要になった消火器を処分する場合は次のことに注意してください

- ・消火器は一般ごみの回収には出さないでください。
- ・廃棄しようとする消火器は、絶対に分解したり、放射したりしないでください。
- ・消火器の廃棄は、購入店や製造メーカーに問い合わせて相談をしましょう。タウンページなどに掲載されている近くの消防設備業者が有料で引き取ってくれる場合もあります。
- ・大手のホームセンターなどでは、消火器を新規購入された人に限って、古い消火器を引き取る場合があります。買い替えの時にはお店で確認をしてみましょう。

テレビのニュースなどで消火器が破裂する実験映像をご覧になり、怖くなって廃棄される人がいますが、適切に保管され、耐用年数を超えていない消火器や、資格のある業者が点検している消火器は、いざという時に頼りになる存在です。

「消火器は危ないからすぐに廃棄しなくては…」と思う前に、製造時期や腐食の状態をよく確認してから廃棄や買い替えをしましょう。

11月9日(月)～11月15日(日)  
秋季全国火災予防運動

平成21年度全国統一標語

「消えるまで  
ゆっくり火の元  
にらめっ子」

この運動は、火災の発生を防止し、高齢者を中心とする死者の発生や財産の損失を防ぐことを目的としています。  
皆さんも、これを機会に火災に対する認識を深め、恐ろしい火災を未然に防ぐことができるよう、正しい知識を身につけましょう。